

## 【1号議案】

### ～平成21年度 事業報告（案）～

#### <概要>

平成21年度事業計画に基づき、非常通信訓練及び非常通信実施体制の総点検を実施する等、非常時における通信体制の確立の推進に努めてまいりました。

各事業につきましては、構成員を始めとして関係各位のご協力のもとに、概ね計画どおり実施することができました。

今後も、非常災害時において迅速かつ有効に機能する通信体制を確立するため、当協議会の活動をより一層充実してまいります。

#### 1 非常通信訓練の実施

##### (1) 全国非常通信訓練の実施（第71回春期・第72回秋期）

中央非常通信協議会（会長 総務省総合通信基盤局長）（以下「中央協議会」という。）の事業計画に基づき、非常時における円滑な通信を確保するため、平常時使用している通信手段が使用できない状況における非常通信ルートの検証を行うとともに、訓練参加者の非常通信に対する認識の向上を図ることを目的として実施しました。

##### ア 第71回春期全国非常通信訓練の実施

###### ①実施日時

平成21年6月26日（金）13：30～15：45

###### ②被災想定地

釧路支庁管内 釧路町、厚岸町及び浜中町

###### ③訓練参加機関（道内8機関）

釧路町、厚岸町、浜中町、釧路東部消防組合（厚岸消防署、釧路消防署、浜中消防署）、釧路市消防本部、北海道（本庁、釧路支庁）、電源開発株式会社、日本放送協会（釧路放送局）

###### ④訓練結果の概要

被災想定地の選定にあたっては、これまで訓練を実施したことがない市町村とし、過去に大きな地震災害が発生した「釧路東部地区」を被災想定地としました。

全体としては、大きなトラブルもなく、3つの通信ルートの全ての伝達を完遂することができた。訓練に要した時間（往復伝達時間）は、全体で2時間15分、ルート毎の平均は1時間58分でした。

◆参考：《資料1》第71回春期全国非常通信訓練実施結果・・・・・・・・・・P10

## イ 第72回秋期全国非常通信訓練の実施

### ①実施日時

平成21年11月25日（水）13：30～14：44

### ②被災想定地

十勝支庁管内 幕別町及び浦幌町

### ③訓練参加機関（道内8機関）

幕別町、浦幌町、東十勝消防事務組合（幕別消防署、浦幌消防署、浦幌消防第3消防団）、帯広市消防本部、北海道（本庁、十勝支庁）、北海道警察本部、東日本電信電話株式会社北海道支店、日本放送協会（帯広放送局）

### ④実施結果の概要

被災想定地の選定にあたっては、これまで訓練を実施したことがない市町村とし、過去に大きな地震災害が発生した「十勝東部地区」を被災想定地とした。

また、今回、はじめて孤立化防止対策用衛星電話を活用した訓練を実施したが、習熟も含め有効であった。

全体としては、大きなトラブルもなく、2つの通信ルートの全ての伝達を完遂することができた。訓練に要した時間（往復伝達時間）は、全体で1時間14分、ルート毎の平均は1時間11分であった。

◆参考：《資料2》第72回秋期全国非常通信訓練実施結果・・・・・・・・・・P13

## (2) 地方非常通信訓練の実施

地震、津波、豪雪等の災害発生時における、迅速かつ正確な災害情報等の通報伝達と訓練参加機関の非常通報の取扱いの習熟を図ることを目的として実施しました。

### ①実施日時

平成22年3月4日（木）13：30～13：56

### ②被災想定地

檜山支庁管内 江差町、上ノ国町及び乙部町

### ③訓練参加機関（道内5機関）

江差町、上ノ国町、乙部町、檜山広域行政組合（消防本部、江差消防署、上ノ国消防署、乙部消防署）、北海道（本庁、檜山支庁）

### ④訓練実施の概要

被災想定地からを2通りの非常通信ルートを使用し、北海道庁までの非常通報の伝達訓練を実施しました。

今回の使用した非常通信ルートは、①地上系（消防無線）ルート及び②衛星系ルートであったが、全体的に、特に大きな障害もなく、問題なく訓練を完遂することができました。

なお、訓練に要した時間は、トータルで26分でした。

◆参考：《資料3》平成21年度北海道地方非常通信訓練の実施結果・・・・・・・・P16

## 2 非常通信実施体制の総点検の実施

### (1) 非常通信実施体制の総点検（11月）

非常災害時における通信、放送の確保を図るため、当協議会構成員の保有している通信設備の運用管理体制等について、平成21年11月を「非常通信実施体制の総点検」月間と位置付け、総点検を実施しました。

#### ア 実施要領

##### ①目的

非常災害時における通信及び放送の確保のため、無線局の運用体制、設備等について十分に対処できる体制を整える事を目的とします。

##### ②実施時期

平成21年11月1日（日）から11月30日（月）までの適宜な日。

##### ③点検対象無線局

- ・放送局、固定局、基地局、携帯基地局、海岸局等の固定して運用している無線局であって有人の無線局
  - ・陸上移動局及び携帯局等の移動する無線局
  - ・市町村防災行政用無線局（同報系）の屋外拡声子局（空中線柱に限る）
- \*点検対象無線局を設置していない機関は、有線通信施設等について、本実施要領に準じて実施

#### イ 総点検実施の結果概要

平成21年度の総点検の実施機関数は、点検対象無線局設置している296機関中、191機関であり、実施率64.5%でした。

平成20年度の実施状況と比べると、全体的に「否」に該当する件数は同等であるものの、「送信機の老朽化及び動作不良」「空中線系の老朽化」「可搬型無線機のバッテリー不良」といった項目が増加の傾向にあります。

本総点検の実施結果を受け、無線設備の機能維持及び非常災害時における運用体制の確立に向け、今後とも総点検を実施していく必要があると考えます。

(2) 災害時における通信の円滑な実施体制の確保について

集中豪雨や降積雪期の災害時における通信の円滑な実施体制の確保に向けた対策のために無線局の管理体制、情報通信施設の浸水対策・雪害対策等の点検を各構成員に対して依頼を実施しました。

ア 集中豪雨等の災害時における通信の円滑な実施体制の確保について（6月）

イ 降積雪期における通信の円滑な実施体制の確保について（12月）

### 3 非常通信に関する周知・啓発活動

(1) 災害時の情報伝達等に関するセミナー等の開催

非常災害時における情報の収集・伝達体制確立の重要性や情報伝達システム・災害情報の活用方法等を広く周知するため、防災と情報に関する講演会・セミナーを開催しました。

ア 平成21年度非常通信協議会定期総会 記念講演会

①開催日時

平成21年5月25日（月）14：45～16：00

②開催場所

京王プラザホテル札幌（札幌市中央区北5条西7丁目）

③演題・講師

演題：「北海道の巨大地震とその防災」

講師：北海道大学理学研究院附属地震火山研究観測センター教授  
谷岡 勇市郎 氏

④参加状況

69機関122名が聴講

イ 「非常通信セミナー2009」

①開催日時

平成21年11月6日（金）14：00～16：00

②開催場所

ホテルポールスター札幌（札幌市中央区北4条西6丁目）

③演題・講師

演題：「災害報道の最前線」 ～被害の全貌をいち早くつかむために～  
講師：日本放送協会札幌放送局 ニュース副部長 橋爪 尚泰 氏

④参加状況

48機関115名が聴講

ウ 防災通信関連機器展示

平成21年度定期総会会場及び非常通信セミナー2009会場にて開催。

(2) 非常通信に関するアンケート調査の実施

構成員を対象に「非常通信に関するアンケート調査」を実施しました。その結果、多くのご意見・要望が寄せられ、これらの意見等については、中央協議会に意見反映を行ってきており、また、今後の当協議会の事業計画の策定等のため活用を図ることとします。

ア 実施期間：平成21年10月21日（水）～11月20日（金）

イ 調査対象：北海道地方非常通信協議会構成員（315機関）

ウ 回答数：163機関（回答率：51.7%）

エ 集計結果：集計結果の詳細は資料6をご参照ください。

<主な意見・要望及び対応状況>

項目	主な意見・要望	対応状況
1 非常通信訓練	全国訓練の実施回数を減らすべき。	全国訓練については、来年度から年1回の実施とします。また、地方訓練の充実を図ります。
2 非常通信体制の総点検	点検時期・点検項目を見直すべき。	点検時期・点検項目を含め、見直しを行うこととします。
3 周知・啓発活動について	セミナーの開催場所を地方でも実施してほしい。	予算等の難しい事情もありますが、今後もできるだけ要望に添えるよう、検討事項にすることとしたい。
	防災関連施設の見学会を行ってほしい。	
4 非常通信ルートについて	非常通信訓練の結果、使送区間が遠距離であり、実際の災害時に対応できるかどうか、ルートの見直しが必要。	関係機関との協議の上、効率的で適切な非常通信ルート設定のため、見直しを行っていきます。
5 災害時の伝達手段	インターネットやコミュニティFM、アマチュア無線の活用	今後の協議会運営において、参考とさせていただきます。

◆参考：《資料6》非常通信に関するアンケート調査の結果について・・・・・・・・P22

### (3) 専用ホームページの充実

周知広報活動の一環として、専用ホームページを開設し、当協議会の各種活動状況等を随時掲載しました。

#### <ホームページアドレス>

<http://www.soumu.go.jp/soutsu/hokkaido/do-hi-jyokyo/index.htm>

## 4 未加入団体への加入促進

平成22年3月31日現在の構成員数は315団体です。

昨年度の加入促進においては、道内179、全ての市町村（消防本部を含む）の加入を達成しましたが、引き続き加入の促進を図っていきます。

### (1) 新加入団体

なし

### (2) 組織改編等による変更

湧別町・・・平成21年10月5日、湧別町と上湧別町が合併

#### 【北海道地方非常通信協議会 構成概要 (H22.3.31 現在)】

国の機関－8団体

地方公共団体－226団体（うち消防機関－52）

電力・ガス－4団体

電気通信事業者－7団体

放送事業者－28団体（TV－6、ラジオ－4、コミュニティ放送－18、CATV－1）

新聞社－6団体

漁業協同組合・漁業無線－8団体

アマチュア無線局関係－6団体

その他－22団体

◆参考：《資料7》構成員名簿・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P28

## 5 幹事会の開催

(1) 開催日：平成22年月3月29日（月）14：00～

(2) 開催場所：北海道総合通信局 第1会議室

(3) 議題：①平成22年度定期総会議案について  
②平成21年度の被表彰者について

## 6 功績者の表彰

平成20年度の表彰の対象はありませんでしたが、引き続き、非常通信に関して功績のあった団体・個人への表彰を行っていきます。